

I L O の 社 会 保 障 費

(I L O)

昨年刊行された国際連合経済社会局の1974 Report on the World Social Situation によれば、前回発行の1970 Reportの時に比べて、世界各国の社会保障は、制度そのものには大きな変化はないが、社会保障支出費の対GDP比¹⁾の増大が顕著であるとして、先進国と発展途上国とに分けてつぎのような表を載せている。

表1 先進市場経済諸国
社会保障支出総額の対GDP比

国名	1966	1968	1969	1970
オーストラリア ^a	8.2	7.9	7.9	8.2
ベルギー	16.5	18.4	18.0	18.2
カナダ ^b	10.8	12.9	13.7	14.9
デンマーク ^b	14.5	16.9	16.8	18.9
フィンランド	11.6	13.3	12.9	13.1
フランス	15.6	19.7 ^c	18.8	18.9
ドイツ連邦共和国(西ドイツ)	17.0	18.1	17.6	16.9
アイスランド	7.3	9.4	9.0	9.0
イタリア	15.7	16.5	16.8	16.7
日本 ^b	5.7	5.6	5.5	5.7
ルクセンブルグ	16.2	17.4	16.3	16.3
オランダ	16.7	18.8	19.8	20.7
スウェーデン	14.7	17.4 ^c	18.1 ^c	19.1 ^c
連合王国(イギリス) ^b	12.7	14.0	14.1	14.2
アメリカ合衆国 ^a	7.3	8.4	8.9	9.7

資料: Yearbook of National Accounts Statistics, 1971 (United Nations publication, Sales No. E.73.XVII.3); Statistical Yearbook,

1972 (United Nations publication, Sales No. E/F.73.XVII.1); International Labour Office, The Cost of Social Security, 1964-1966 (Geneva, 1972); and 1967-1971 (provisional data); European Economic Community, Exposé sur l'évolution de la situation sociale dans la Communauté en 1971 (Brussels and Luxembourg, 1972).

〔註〕

a 表題の年次は会計年度の終わった年を示す

b 表題の年次は会計年度の始まった年を示す

c 数値は一部推計

表2 発展途上諸国

社会保障支出総額の対GDP比 (%)

国名	1966	1968	1969	1970
キプロス	2.2	3.3	3.2	3.3
エル・サルヴァドル	2.4	2.8	2.9	2.9
イスラエル ^a	7.2	8.2	8.7	9.7
ジャマイカ ^a	2.6	2.7	2.9	3.2
スリ・ランカ ^b	3.5	3.1 ^c	3.1 ^c	3.1 ^c
トルコ	1.7	2.0	2.7	2.9
ヴェネズエラ	3.2	3.9	4.2	4.5

資料: Yearbook of National Accounts Statistics, 1971; Statistical Yearbook, 1972; International Labour Office, The Cost of Social Security, 1964-1966 and 1967-1971.

〔註〕

a 表題の年次は会計年度の終わった年を示す

b 表題の年次は会計年度の始まった年を示す

c 数値は一部推計

対GDP比20%を超えるオランダをトップに、一般に各年を通じて、ヨーロッパ諸国の比率が高いのは論ずるまでもないが、他地域で10%を超えるのはカナダ一國に過ぎず、日本は5.5~5.7%と表1の先進市場経済諸国中では大きく水をあけられて最低であり、表2の発展途上国中の最高9.7%のイスラエルよりも大分劣る。また、先進市場経済諸国の1966~1970年4年間の対GDP比

の増減を比較して、上位数カ国と下位数カ国をランクしてその増減幅をみると、

デンマーク	4.4 %ポイント
スウェーデン	4.4 %
カナダ	4.1 %
オランダ	4.0 %
フランス	3.3 %
アメリカ合衆国	2.4 %

西ドイツ	-0.1 %ポイント
オーストラリア	0 %
日本	0 %
ルクセンブルグ	0.1 %

となる。開発途上国については、イスラエルの2.5 %ポイントが最高で、他は1.3 %ポイント以下である。

社会主義諸国については、採用している国民勘定集計値の定義が異なるため、²⁾正確には市場経済諸国と比較できないが、経済に対する社会保障支出の効果について、ILOが最近集計したデータがあるので参考のために掲げておく。

ILOのThe Cost of Social Security 1964-1966が刊行されたのは1972年のことで、社会保障費について最も広く活用されているものとして、その最新版が各方面から長いこと待たれているが、それも近い中によりやく発行される模様で、それまでの暫定的なデータとして上記のものを紹介させていただいた。

1) 購入者価格による国内総生産

2) 表1、表2の諸国が購入者価格による国内総生産を用いて集計しているのに対し、表3の諸国は市場価格による物的純生産を用いている。これら定義については、

Yearbook of National Accounts Statistics, 1971 (United Nations Publication, Sales No. E.73.XVII.3), vol. I, pp. v-xxxi, ならびに International Labour Office, The Cost of Social Security, 1964-1966 (Geneva, 1972), p.7. を参照されたい。

(唐木英雄 社会保障研究所)

表3 東欧・ソ連
社会保障支出総額の対NMP比

国名	1966	1968	1969	1970
チェコスロヴァキア	16.8	16.7	17.7	18.0
ハンガリー	11.0	10.9	10.6	11.1
ポーランド	9.4	10.0	10.7	10.9
ウクライナー	9.6	11.3	11.3	11.3
ソ連	11.2	11.1	11.5	11.3

資料：Yearbook of National Accounts Statistics, 1971;
International Labour Office, The Cost of Social Security, 1964-1966 and 1967-1971.